



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月13日

上場会社名 平田機工株式会社

上場取引所 東

コード番号 6258 URL <http://www.hirata.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平田 雄一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経理・IR担当 (氏名) 藤本 靖博

TEL 096-272-5558

四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|------|-------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 31年3月期第3四半期 | 55,107 | 17.7 | 4,974 | 36.7 | 5,084 | 34.1 | 3,630 | 32.1 |
| 30年3月期第3四半期 | 66,944 | 28.4 | 7,859 | 48.0 | 7,717 | 52.8 | 5,347 | 45.9 |

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 3,132百万円 (46.9%) 30年3月期第3四半期 5,903百万円 (81.6%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 31年3月期第3四半期 | 343.57 | 343.23 |
| 30年3月期第3四半期 | 518.34 | 518.11 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 31年3月期第3四半期 | 91,795 | 45,986 | 49.5 |
| 30年3月期 | 95,330 | 46,582 | 48.3 |

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 45,448百万円 30年3月期 46,091百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期 | | 0.00 | | 125.00 | 125.00 |
| 31年3月期 | | 0.00 | | | |
| 31年3月期(予想) | | | | 125.00 | 125.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|-------|------|-------|------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 83,000 | 11.9 | 5,200 | 44.5 | 5,300 | 42.7 | 3,800 | 43.0 | 356.72 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 31年3月期3Q | 10,756,090 株 | 30年3月期 | 10,756,090 株 |
| 期末自己株式数 | 31年3月期3Q | 382,074 株 | 30年3月期 | 82,774 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 31年3月期3Q | 10,566,528 株 | 30年3月期3Q | 10,316,022 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、「添付資料」2ページ「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

四半期決算補足説明資料に関しましては、当社ウェブサイトに掲載予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (追加情報) | 8 |
| (セグメント情報) | 9 |
| 3. 補足情報 | 10 |
| 生産、受注及び販売の状況 | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経済情勢は、米国におきましては、雇用環境の改善を背景に、個人消費は堅調に推移するなど、内需主導で景気拡大が持続しました。欧州におきましても、個人消費が底堅く推移し、設備投資も堅調さを維持しました。中国におきましては、景気の減速感が強まりましたが、新興国全体では回復基調を維持しました。国内経済におきましては、企業収益の改善に伴う設備投資の増加や、雇用改善による個人消費の拡大など、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、米中貿易摩擦をはじめとする世界経済の不確実性の高まりなどにより、先行きは依然として不透明感を払拭できない状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループにおきましては、当事業年度より新たな中期経営計画をスタートさせ、受注・生産・開発体制強化、既存事業の深耕と拡大、成長市場への進出、量産型ビジネスの確立と商品化を推進し、経営基盤の強化に向けて積極的に取り組んでおります。また、欧州の完成車メーカーより電気自動車(EV)関連の大型生産設備を受注するなど、新規顧客開拓に取り組んでまいりました。しかしながら、高水準で推移しておりました有機エレクトロルミネッセンス(有機EL)関連の設備投資が調整局面に入ったことや、自動車メーカーで内燃系パワートレイン関連の設備投資が慎重になったことなどにより、当第3四半期連結累計期間における売上高は551億7百万円(前年同期比17.7%減)となり、営業利益は49億74百万円(前年同期比36.7%減)、経常利益は50億84百万円(前年同期比34.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は36億30百万円(前年同期比32.1%減)となりました。

事業部門別の営業概況は、以下のとおりであります。

1) 自動車関連生産設備事業

自動車関連生産設備事業におきましては、自動車の電動化・電装化に伴う電子部品需要の拡大を背景に、自動車部品関連設備の売上高は堅調に推移しました。一方で、内燃系パワートレイン関連の設備投資抑制の動きなどが影響しました結果、売上高は215億79百万円(前年同期比8.1%減)となりました。

2) 半導体関連生産設備事業

半導体関連生産設備事業におきましては、スマートフォン市場の成熟化や半導体メモリーの価格下落などから半導体市況の減速が懸念されるものの、足元ではシリコンウェーハ搬送設備を中心に予定どおり売上げました。また、中国における大型液晶パネル向けの設備投資がおこなわれたことに伴い、液晶パネル関連設備が堅調に推移しました。一方で、有機EL関連の設備投資が調整局面を迎えたことで、有機EL蒸着装置案件の売上高が前年同期を下回りました。この結果、売上高は190億47百万円(前年同期比33.7%減)となりました。

3) 家電関連およびその他生産設備事業

家電関連およびその他生産設備事業におきましては、住宅関連への設備投資に一服感が見られましたが、白物家電を中心とした組立設備を予定どおり売上げました。また、タイヤメーカー向け案件の売上高が増加しました結果、売上高は131億91百万円(前年同期比16.0%増)となりました。

セグメントの状況は以下のとおりであります。

1) 日本

日本におきましては、自動車関連や有機EL関連などの受注高が低調であったことを受けまして、売上高、利益ともに前年同期を下回りました結果、売上高は421億91百万円(前年同期比25.3%減)、営業利益は41億13百万円(前年同期比42.7%減)となりました。

2) アジア

アジアにおきましては、中国の景気減速による影響が懸念されるものの、足元では、積極的な設備投資がおこなわれ、自動車関連および家電関連の売上高が堅調に推移しました。利益面では、量産体制の整備など効率化による原価低減が図れました。この結果、売上高は59億29百万円(前年同期比7.4%増)、営業利益は10億99百万円(前年同期比210.1%増)となりました。

3) 北米

北米におきましては、自動車メーカー向けの案件を中心に予定どおり売上げましたが、利益面では厳しい状況で推移しました結果、売上高は47億43百万円(前年同期比6.7%増)、営業損失は3億41百万円(前年同期は5億62百万円の営業利益)となりました。

4) 欧州

欧州におきましては、EV普及に向けた自動車メーカーの旺盛な設備投資を背景に、EV関連設備の売上高が増加しました。この結果、売上高は22億43百万円(前年同期比358.5%増)、営業利益は31百万円(前年同期は18百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて35億35百万円減少し、917億95百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金の減少35億81百万円、受取手形及び売掛金の減少32億33百万円、建物及び構築物の増加25億77百万円であります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて29億39百万円減少し、458億9百万円となりました。その主な内訳は、支払手形及び買掛金の減少19億6百万円、電子記録債務の増加11億9百万円、短期借入金の増加10億1百万円、未払費用の減少9億66百万円、未払法人税等の減少8億97百万円、前受金の減少9億円であります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて5億95百万円減少し、459億86百万円となりました。その主な内訳は、利益剰余金の増加22億96百万円、自己株式の増加24億38百万円であります。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の48.3%から49.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年11月13日に開示しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 10,923,820 | 7,342,156 |
| 受取手形及び売掛金 | 42,296,706 | 39,062,776 |
| 電子記録債権 | 7,318,422 | 7,406,488 |
| 商品及び製品 | 177,497 | 107,550 |
| 仕掛品 | 8,339,121 | 8,941,842 |
| 原材料及び貯蔵品 | 659,177 | 1,336,611 |
| その他 | 1,773,291 | 2,599,907 |
| 貸倒引当金 | △20,735 | △19,863 |
| 流動資産合計 | 71,467,301 | 66,777,471 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 4,572,788 | 7,150,242 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,574,403 | 1,467,585 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 506,312 | 602,120 |
| 土地 | 9,813,933 | 9,787,851 |
| 建設仮勘定 | 909,487 | 255,909 |
| 有形固定資産合計 | 17,376,925 | 19,263,708 |
| 無形固定資産 | | |
| 借地権 | 25,781 | 25,781 |
| ソフトウェア | 773,991 | 609,985 |
| その他 | 14,274 | 14,274 |
| 無形固定資産合計 | 814,048 | 650,042 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,777,899 | 1,997,813 |
| 破産更生債権等 | 37,462 | 37,075 |
| 退職給付に係る資産 | 1,369,706 | 1,843,518 |
| 繰延税金資産 | 1,015,456 | 616,397 |
| その他 | 725,305 | 895,361 |
| 貸倒引当金 | △253,292 | △285,633 |
| 投資その他の資産合計 | 5,672,538 | 5,104,534 |
| 固定資産合計 | 23,863,511 | 25,018,285 |
| 資産合計 | 95,330,813 | 91,795,756 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 7,389,157 | 5,482,767 |
| 電子記録債務 | 8,399,470 | 9,509,090 |
| 短期借入金 | 9,084,719 | 10,085,959 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 3,246,808 | 7,597,208 |
| 未払金 | 1,089,307 | 1,253,422 |
| 未払費用 | 2,944,853 | 1,977,907 |
| 未払法人税等 | 1,039,863 | 141,956 |
| 前受金 | 3,020,320 | 2,119,839 |
| 賞与引当金 | 77,465 | 56,206 |
| 役員賞与引当金 | 145,749 | - |
| 製品保証引当金 | 221,907 | 192,634 |
| 工事損失引当金 | 370,594 | 322,357 |
| その他 | 455,627 | 696,843 |
| 流動負債合計 | 37,485,843 | 39,436,193 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 8,643,316 | 3,779,910 |
| 役員退職慰労引当金 | 39,002 | - |
| 繰延税金負債 | 51,180 | 68,660 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 2,078,009 | 2,078,009 |
| その他 | 450,999 | 446,456 |
| 固定負債合計 | 11,262,507 | 6,373,037 |
| 負債合計 | 48,748,351 | 45,809,230 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,633,962 | 2,633,962 |
| 資本剰余金 | 14,280,533 | 14,288,192 |
| 利益剰余金 | 24,347,628 | 26,643,745 |
| 自己株式 | △72,324 | △2,510,340 |
| 株主資本合計 | 41,189,801 | 41,055,560 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 979,495 | 437,297 |
| 繰延ヘッジ損益 | 6,889 | 11,714 |
| 土地再評価差額金 | 4,206,808 | 4,206,808 |
| 為替換算調整勘定 | 577,057 | 476,268 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △868,374 | △738,815 |
| その他の包括利益累計額合計 | 4,901,877 | 4,393,273 |
| 新株予約権 | 83,337 | 119,144 |
| 非支配株主持分 | 407,445 | 418,546 |
| 純資産合計 | 46,582,462 | 45,986,525 |
| 負債純資産合計 | 95,330,813 | 91,795,756 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 66,944,730 | 55,107,438 |
| 売上原価 | 52,783,893 | 43,379,655 |
| 売上総利益 | 14,160,836 | 11,727,783 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,301,228 | 6,753,706 |
| 営業利益 | 7,859,608 | 4,974,076 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 5,681 | 5,692 |
| 受取配当金 | 26,903 | 28,431 |
| 受取和解金 | - | 273,609 |
| 原材料等売却益 | 19,027 | 17,222 |
| その他 | 45,488 | 43,546 |
| 営業外収益合計 | 97,101 | 368,502 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 84,088 | 78,169 |
| 為替差損 | 122,960 | 143,657 |
| その他 | 32,141 | 36,708 |
| 営業外費用合計 | 239,190 | 258,534 |
| 経常利益 | 7,717,518 | 5,084,044 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 9,119 | 48,844 |
| 特別利益合計 | 9,119 | 48,844 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 1,420 | 48,814 |
| 固定資産売却損 | 1,955 | 5,609 |
| 特別損失合計 | 3,376 | 54,423 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 7,723,262 | 5,078,464 |
| 法人税等 | 2,333,608 | 1,437,041 |
| 四半期純利益 | 5,389,653 | 3,641,422 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 42,438 | 11,042 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 5,347,215 | 3,630,379 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 5,389,653 | 3,641,422 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 379,335 | △542,197 |
| 繰延ヘッジ損益 | 29,879 | 4,824 |
| 為替換算調整勘定 | 8,364 | △99,321 |
| 退職給付に係る調整額 | 96,329 | 128,149 |
| その他の包括利益合計 | 513,907 | △508,545 |
| 四半期包括利益 | 5,903,561 | 3,132,877 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 5,856,279 | 3,121,776 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 47,282 | 11,101 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年6月27日開催の第66回定時株主総会ならびに同日開催の取締役会の決議に基づき付与されたストックオプションの権利行使に伴い、自己株式700株の処分を実施いたしました。また、当社は、平成30年8月10日の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式300,000株の取得を実施いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が7,658千円増加し、自己株式が2,438,016千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が14,288,192千円、自己株式が2,510,340千円となっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 日本 | アジア | 北米 | 欧州 | 合計 |
|-----------------------|------------|-----------|-----------|---------|------------|
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 56,487,065 | 5,523,143 | 4,445,238 | 489,282 | 66,944,730 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 4,717,527 | 641,970 | 418,373 | 47,075 | 5,824,946 |
| 計 | 61,204,592 | 6,165,114 | 4,863,612 | 536,357 | 72,769,677 |
| セグメント利益又は損失(△) | 7,184,199 | 354,535 | 562,103 | △18,120 | 8,082,718 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 8,082,718 |
| 棚卸資産の調整額 | △224,271 |
| その他の調整額 | 1,161 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 7,859,608 |

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 日本 | アジア | 北米 | 欧州 | 合計 |
|-----------------------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 42,191,934 | 5,929,154 | 4,743,103 | 2,243,246 | 55,107,438 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 3,610,267 | 560,137 | 501,903 | 64,843 | 4,737,151 |
| 計 | 45,802,202 | 6,489,291 | 5,245,006 | 2,308,089 | 59,844,590 |
| セグメント利益又は損失(△) | 4,113,693 | 1,099,330 | △341,847 | 31,582 | 4,902,759 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 4,902,759 |
| 棚卸資産の調整額 | 70,078 |
| その他の調整額 | 1,238 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 4,974,076 |

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日) (千円) | 前年同四半期比 (%) |
|----------|--|-------------|
| 日本 | 44,051,601 | 75.8 |
| アジア | 5,889,893 | 100.1 |
| 北米 | 4,344,918 | 50.0 |
| 欧州 | 2,222,840 | 376.8 |
| 合計 | 56,509,253 | 77.1 |

当第3四半期連結累計期間における生産実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

| 事業部門の名称 | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日) (千円) | 前年同四半期比 (%) |
|------------------|--|-------------|
| 自動車関連生産設備事業 | 21,807,734 | 77.7 |
| 半導体関連生産設備事業 | 19,286,757 | 65.4 |
| 家電関連およびその他生産設備事業 | 13,987,623 | 114.0 |
| その他 | 1,427,137 | 41.5 |
| 合計 | 56,509,253 | 77.1 |

(注) 1. 金額は、販売価格および製造原価によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第3四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 受注高 (千円) | 前年同 四半期比 (%) | 受注残高 (千円) | 前年同 四半期比 (%) |
|----------|-------------|--------------------|--------------|--------------------|
| 日本 | 34,659,068 | 65.6 | 25,069,353 | 84.7 |
| アジア | 3,679,911 | 39.4 | 3,479,240 | 46.9 |
| 北米 | 3,926,311 | 60.2 | 4,776,968 | 46.1 |
| 欧州 | 3,403,340 | 450.5 | 1,717,132 | 245.8 |
| 合計 | 45,668,631 | 65.8 | 35,042,695 | 72.9 |

当第3四半期連結累計期間における受注状況を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

| 事業部門の名称 | 受注高 (千円) | 前年同 四半期比 (%) | 受注残高 (千円) | 前年同 四半期比 (%) |
|------------------|-------------|--------------------|--------------|--------------------|
| 自動車関連生産設備事業 | 21,994,509 | 103.2 | 17,872,833 | 77.0 |
| 半導体関連生産設備事業 | 13,383,515 | 42.0 | 10,231,859 | 63.7 |
| 家電関連およびその他生産設備事業 | 8,649,084 | 59.8 | 6,238,362 | 78.3 |
| その他 | 1,641,522 | 89.7 | 699,640 | 84.7 |
| 合計 | 45,668,631 | 65.8 | 35,042,695 | 72.9 |

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(3)販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日) (千円) | 前年同四半期比 (%) |
|----------|--|-------------|
| 日本 | 42,191,934 | 74.7 |
| アジア | 5,929,154 | 107.4 |
| 北米 | 4,743,103 | 106.7 |
| 欧州 | 2,243,246 | 458.5 |
| 合計 | 55,107,438 | 82.3 |

当第3四半期連結累計期間における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

| 事業部門の名称 | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日) (千円) | 前年同四半期比 (%) |
|------------------|--|-------------|
| 自動車関連生産設備事業 | 21,579,832 | 91.9 |
| 半導体関連生産設備事業 | 19,047,723 | 66.3 |
| 家電関連およびその他生産設備事業 | 13,191,864 | 116.0 |
| その他 | 1,288,018 | 38.1 |
| 合計 | 55,107,438 | 82.3 |

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。